

生物多様性自治体ネットワーク加盟自治体の生物多様性に係るホットピックを定期的に取りまとめ、自治体間で事例の共有を図るとともに、対外的な発信をおこなうものです。

★6月配信の記事募集中(〆切5月25日(月)) 会員等に共有いただける記事を募集中です!

生物多様性自治体ネットワークについて <https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/j-gbf/nlgb/>

●藤前干潟生きものカードを作成しました!【名古屋市】

名古屋市は令和7年7月にジンバブエ共和国で開催されたラムサール条約第15回締約国会議(COP15)において、ラムサール条約湿地都市として認証されました。この認証を契機とした普及啓発の一環として藤前干潟の認知度の向上のため藤前干潟に棲む魚やカニ、渡り鳥など20種類の生きものカードを作成しました。

カードは藤前干潟で開催されるイベント等で配布予定です。

【藤前干潟とは】

藤前干潟は名古屋市港区から海部郡飛島村に広がる干潟で、大都市部としては貴重な自然を残している場所です。2002年11月18日にラムサール条約に登録されました。

		
<p>外箱の写真</p>	<p>カード(表)</p>	<p>カード(裏)</p>

<ウェブサイト>

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/kankyoku/1012463/1034808/1012465.html>

<問い合わせ先> 名古屋市環境局環境企画課(環境学習センター) 担当: 岸

TEL: 052-223-1066 Mail: a2662@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

●名古屋市役所の屋上で養蜂を開始しました！🐝👑【名古屋市】

ネイチャーポジティブ（生物多様性の回復）の実現を一層推進するため、令和8年2月25日に名古屋養蜂組合と協定を締結し、同年3月25日から市役所（西庁舎）屋上において養蜂事業（名古屋市役所屋上みつばちプロジェクト）を開始しました。本取り組みは、政令指定都市の市役所（本庁）において初の事例となります。

4月16日には市長出席のもと、お披露目会を開催し、9社の報道機関が取材に訪れるなど、大きな盛り上がりを見せました。お披露目会では、とれたての蜂蜜の試食が行われたほか、6月下旬頃に販売予定の蜂蜜について、市長から「金シャチハニー」と命名する旨が発表されました。

今後、5月と7月には、蜂蜜の味比べや、ミツバチと私たちの暮らしとのつながりについて学ぶことができる、「おいしい」市民向けイベントの開催を予定しています。

ミツバチなどによる花粉媒介をはじめとする「生きものつながり」や、その恵みを、視覚や蜂蜜の味覚を通じて分かりやすく体験していただくことで、市民の皆さんの生物多様性への理解促進を図っていきます。



<ウェブサイト>

名古屋市役所屋上みつばちプロジェクト

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/kankyou/1012463/bee.html>

<問い合わせ先> 名古屋市環境局環境企画課 担当：房村

TEL：052-972-2698 Mail：a2662-01@kankyokyou.city.nagoya.lg.jp

●株式会社カインズ×名古屋市 なごやの苗購入キャンペーン開始 🌱【名古屋市】

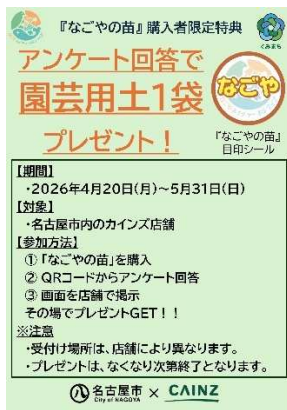
ネイチャーポジティブ（生物多様性の回復）の実現を一層推進するため、株式会社カインズと名古屋市がコラボして開始しました、なごや地域の在来種「なごやの苗」の販売ですが、4月20日から購入者限定で園芸用土をプレゼントするキャンペーンを開始しました！カインズの店舗で『なごやの苗』を購入していただき、アンケートにお答えいただいた方に、環境に配慮した「循環型培養土※10L」1袋お渡ししています。

店舗での買い物の機会を捉え、在来種や生物多様性、ネイチャーポジティブの理解促進を行い、市民の行動変容を継続的に促します。

※（参考）循環型培養土について

家庭で不用になった園芸用土をカインズの店舗で回収し、連携する園芸用土メーカーが焼成・殺菌処理を行った上で、「循環型培養土」として再生し、カインズ店舗にて販売するものです。

本市では、本市と株式会社カインズが「資源循環に資する事業の連携に関する協定」を締結し、協定に基づき、カインズ 名古屋堀田店（瑞穂区）、カインズ 名古屋みなと店（港区）において、ご家庭で不用になった園芸用土の無料回収を実施しています。



<ウェブサイト>

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/kankyoku/1012463/1034790/cainz.html>

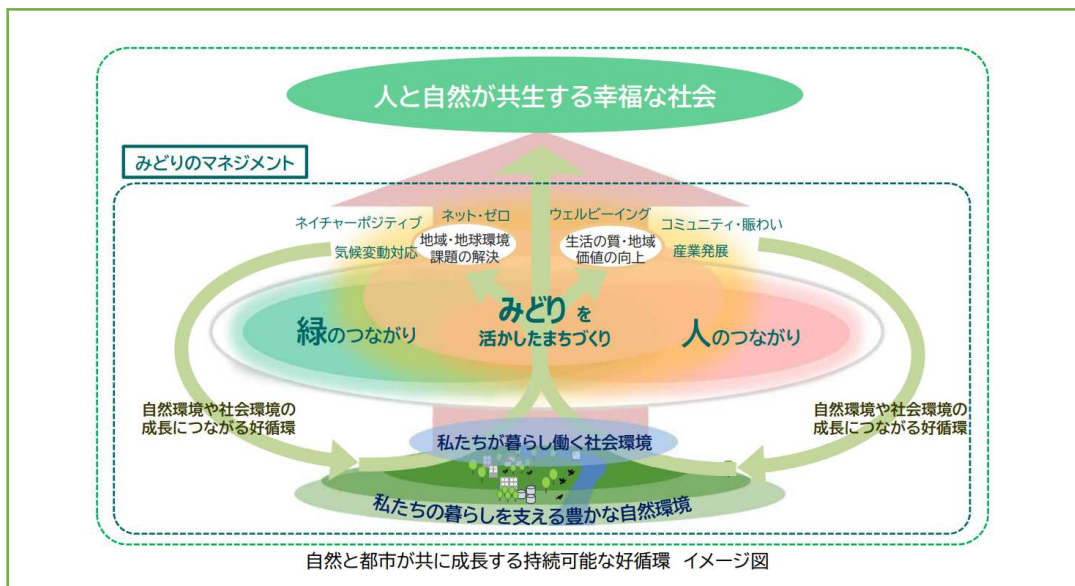
<問い合わせ先> 名古屋市環境局環境企画課 担当：房村

TEL：052-972-2698 Mail：a2662-01@kankyokyouku.city.nagoya.lg.jp

● 「みどりの将来像」を策定しました！【川崎市】

川崎市では、市制 100 周年の象徴的事業として開催した全国都市緑化かわさきフェアでの「みどりの KAWASAKI 宣言」で目指すこととしている「人と自然が共生する幸福な社会」の実現に向けて、目標とすべき「みどりの将来像」を描き、取組を進めるため、ネイチャーポジティブ（自然再興）やサーキュラーエコノミー（循環経済）などの地球環境に関する世界的な潮流、気候変動などの社会環境の変化等に対して、これまで以上に高い意識を持って検討を進めてきました。

今後、本将来像を踏まえ、「緑のつながり」「人のつながり」「みどりを活かしたまちづくり」の 3つの柱が成長することにより、自然と都市が共に成長する持続可能な好循環を生み出し、生活の質・地域価値の向上や地域・地球環境課題の解決に向けた取組を推進していきます。



<ウェブサイト>

<https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000181078.html>

<問い合わせ先>

川崎市建設緑政局総務部みどりの将来像推進担当 担当：浅岡・小林

TEL：044-200-0385 Mail：53grfuture@city.kawasaki.jp

川崎市環境局総務部企画課 担当：豊田

TEL：044-200-3720 Mail：30kikaku@city.kawasaki.jp

●第1回「在来種を育てよう運動 in いわくらの調整池」を開催します【愛知県岩倉市】

岩倉市では、尾張西部生態系ネットワーク協議会の協力のもと、市内にある川井野寄工業団地調整池において、身近な自然との共生や生物多様性の保全について考えるきっかけになることを目的に、年に2回「在来種を育てよう運動 in いわくらの調整池」を開催しています。

第1回では、調整池緑地帯に繁茂している外来種などの野草を抜き取ります。

日時：5月18日（月）午後3時から午後5時まで

場所：川井野寄工業団地調整池（岩倉市川井町萱野南）

駐車場：愛北クリーンセンター駐車場（岩倉市川井町萱野南112番）



令和7年度6月実施時の様子

<ウェブサイト>

<https://www.city.iwakura.aichi.jp/0000007451.html>（令和7年度の実施の様子）

<問い合わせ先>

岩倉市市民協働部環境政策課 担当：石井、服部

TEL：0587-38-5808 Mail：kankyouseisaku@city.iwakura.lg.jp

●「生物多様性の日 SDGs クイズラリー」を開催します【愛知県岩倉市】

岩倉市では、5月22日の生物多様性の日にちなんで、岩倉市自然生態園で、豊かな自然を残すにはどうしたらよいか考えながらクイズラリーにチャレンジする「生物多様性の日 SDGs クイズラリー」を開催しています。

日時：5月23日（土）午前10時から午後4時まで

場所：岩倉市自然生態園（岩倉市北島町最中1）



令和7年度実施時の様子

<ウェブサイト>

<https://www.city.iwakura.aichi.jp/0000007791.html>

<問い合わせ先>

岩倉市市民協働部環境政策課 担当：石井、知崎

TEL：0587-38-5808 Mail：kankyouseisaku@city.iwakura.lg.jp

●事務局からのお知らせ

<今後の予定>

令和8年5月25日 生物多様性自治体ネットワーク オンライン説明会（出欠5月20日ㄨ）

<その他依頼事項>

令和7年2月12日に開催された本ネットワークの総会において、令和8年度総会（R9.2頃）を名古屋市で実地開催することが決定しています。各自治体におかれましては、本市にお越しいただくための旅費等の確保をお願いいたします。詳細は総会資料をご確認ください。

<J-GBF ネイチャーポジティブ行動計画における本ネットワークの指標の進捗状況>

指標	基準日*の数値 ※行動計画承認日（R5.9.12）	現在の数値 （R8.5.7時点）	基準日からの増減
生物多様性自治体ネットワーク加盟自治体数	193自治体	202自治体	+9自治体
加盟自治体における30by30アライアンス加入数	33自治体	59自治体	+26自治体